

心筋トロポニン T				7471000	
				担当部署	
心筋トロポニン T				生化	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→免疫・自己抗体→			
	2	電子カルテ→指示①→検査→*3.緊急→			
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		特記事項なし			
検査受付時間		緊急対応(24 時間)			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	1 紫	EDTA-2K	2	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件		冷蔵			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間		当日保存のみ(追加検査については、検査室に要問合せ)			
検査結果・報告					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中～翌日				
生物学的基準範囲		参考基準範囲：0.014 ng/mL 以下（健常者 546 例） エクルーシス試薬 トロポニン T hs 試薬添付文書				
臨床判断値		カットオフ値：0.1 ng/mL （急性心筋梗塞患者 576 例における ROC 曲線より算出） エクルーシス試薬 トロポニン T hs 試薬添付文書				
基準値					単位	ng/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
0	0.014	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値		高値	設定なし			
		低値	設定なし			
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		トロポニンは横紋筋の筋原線維蛋白に属し、分子量約 8 万の球状蛋白であり、トロポミオシンに強い親和性をもち、その複合物は細いフィラメントの全長にわたって約 400A の周期で存在している。 この収縮器官の構成要素の一つである TnT（Troponin T. 以下 TnT と略す）は、分子量 37, 000, 半減期 120 分の不溶性および塩基性タンパク質で筋の収縮機能を調節している。 TnT は心筋と骨格筋由来のものとしてアミノ酸構造が少し違っており、Katus らにより心筋由来の TnT に特異な抗体が作製されている。 もしその物質がサイトゾール中にもある程度存在し、心筋収縮により構造蛋白が一部血中に遊出すれば理想的なマーカーとなり得るだろう。 トロポニン T 測定による急性心筋梗塞時の診断的評価および再灌流成否判定に関する研究 -他の心筋マーカーとの比較- 米田 孝司 他:医学と薬学 26－3－505～518 1991				